

経営比較分析表

岐阜県 岐阜市

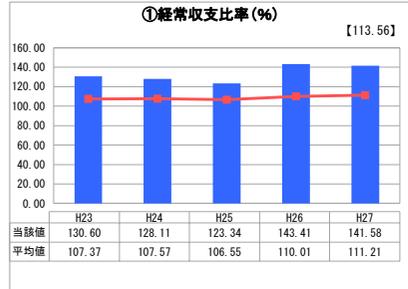
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A6
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	95.99	99.48	1,672

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
24,903	7.91	3,148.29
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
24,847	7.91	3,141.21

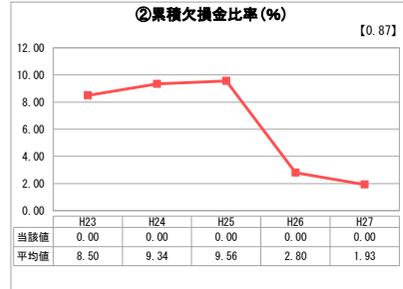
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

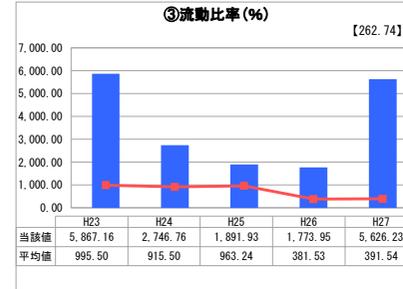
1. 経営の健全性・効率性



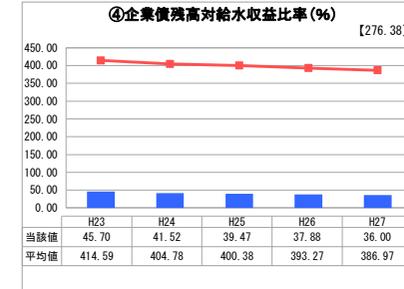
「経常損益」



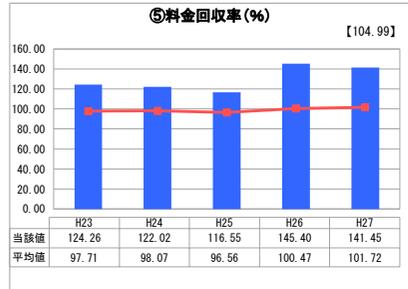
「累積欠損」



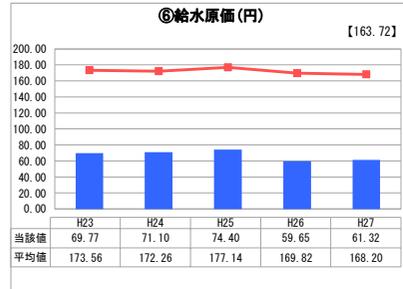
「支払能力」



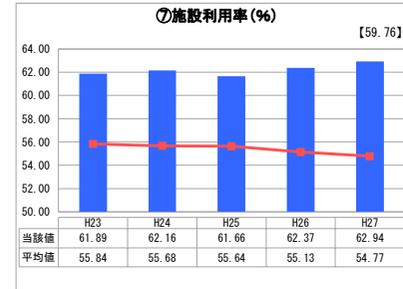
「債務残高」



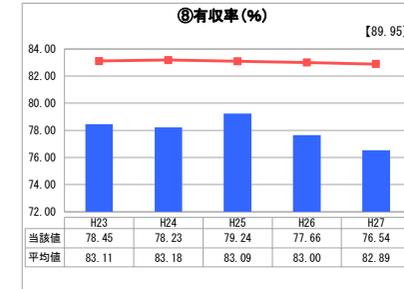
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

分析欄

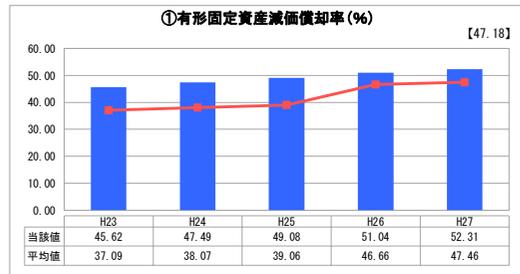
1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は継続的に100%を超え黒字経営ができています。これは当町がコンパクトな地形に人口が密集しているため水源施設は3箇所と少なく効率的に運用が実現できており、また豊富な地下水にも恵まれていることが要因として考えられます。このため、①経常収支比率、⑤料金回収率、⑦施設利用率は類似団体及び全国平均よりも高い水準となっており、⑥給水原価にあってはかなり低い値となっています。②累積欠損金は発生していないので累積欠損比率は0%です。③流動比率は年度毎に増減しますがいずれも100%を超えており、短期的な支払に備えた現金も十分備わっています。④企業債残高割合は、これまで大規模工事が少なかったこともあり、類似団体平均を大きく下回っています。⑧有収率は類似団体の平均値を下回っていることから漏水対策の取り組みが必要と考えています。

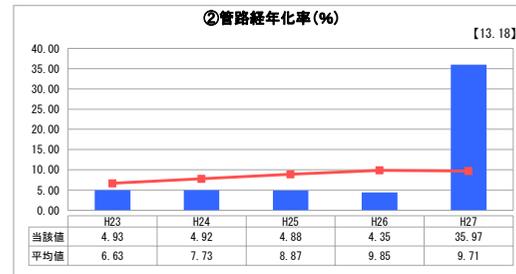
2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は類似団体の平均値よりも高く、施設の老朽化が進んでいる状況です。②平成27年度の管路経年化率が急激に伸びているのは、布設年度が不明な管路を法定耐用年数経過したものとして一括計上したためであり、これに伴い③管路更新率が例年以上の更新工事を行ったにも拘らず大きく落ち込むかたちとなりました。

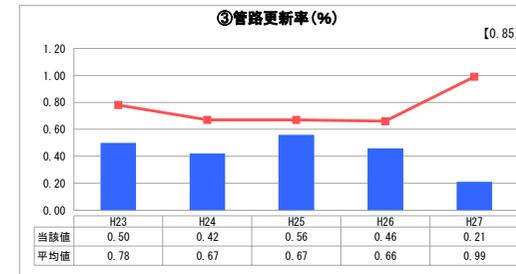
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

全体総括

当町の経営状況は、経営の健全性の観点から見るに経常損益が継続的に黒字となっていることや企業債の残高が少ないことなどから概ね良好な状況であるといえます。しかし、効率性の観点から見ると、有収率が類似団体の平均値よりも低いことが課題であるため、平成27年度から町内全域の漏水調査を順次行うこととしました。この成果が表れるのは次年度以降になりますが、継続的に有収率向上に取り組んでいきます。また、老朽化の状況については、経年管の割合が多く、これに伴う更新費用が膨大となるため、新水道ビジョンや施設の更新計画を整備し効率的かつ計画的な更新を進めていく考えです。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。